

強盗事件を想定
岐阜信金で訓練

岐阜市

金融機関での強盗事件を想定した防犯訓練が、岐阜市神田町の岐阜信用金庫本店営業部で行われ、職員が対応手順を確認した。

岐阜中署員や同金庫職員計40人が参加。強盗犯に扮した署員がけん銃を手に、「金を出せ」などと脅すと、職員は非常ボタンを押して警察に通報。犯人逃走後は、職員が身長や

服装など犯人の特徴を細かく署員に報告していた。元氣なあいさつや声掛け、店舗周辺の見回りなど今後も防犯意識を高めたい」と話していた。(河合修)

同金庫の光崎修理事本店営業部長は「追跡のタイミングが遅れる



拳銃を持った強盗犯を想定した防犯訓練。岐阜市神田町、岐阜信用金庫本店営業部